

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第33回）

1. 日 時

令和8年8月7日（金）14時15分から16時00分まで

2. 場 所

南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」3階大研修室

3. 出席者

委員等（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

- ・議題第1号 地域公共交通計画（素案）について ⇒継続協議
- ・議題第2号 令和8年度収支予算の変更について ⇒承認
- ・議題第3号 園福線の運行予定事業者選定結果について（報告事項）

6. 主な内容・意見

〈議題第1号 地域公共交通計画（素案）について〉

- 計画は施策の羅列ではなく、将来像の実現に向けた道筋として整理すべきである。
- 利用者アンケートからは、目的地までの移動方法や利用方法が十分伝わっていない実態が見られるので、既存交通の利用方法を分かりやすく伝える情報発信も重要である。
- 高校生については、通学に加え、放課後や休日の移動も含めて、自ら移動できる環境づくりの観点から、運賃施策等を検討する必要がある。
- 現行計画で掲げた「森の京都お出かけシステム」の考え方を改めて整理した上で、次回協議会では将来像の妥当性、施策体系及び具体施策について改めて協議する必要がある。

〈議題第2号 令和8年度収支予算の変更について〉

- 国庫補助金が減額となった理由は何か。
（事務局回答）同時期に改定を行う自治体が多かったことが影響していると考えている。

〈議題第3号 園福線の運行予定事業者選定結果について〉

- 有限会社中京交通及び京都交通株式会社から応募があり、両社を引き続き運行予定事業者として選定した。今後は運行内容等について協議を進め、令和9年4月の運行開始に向けた準備を行う。
- 関係自治体地域住民と連携しながら、更なる利用促進に努めていきたい。
- 園福線は沿線地域を支える重要な路線。山陰本線との連携も含め、今後の計画の中で利用促進策を検討していく必要がある。